

催し物のご案内

植物園の最新イベント情報は、公式ホームページやSNSでチェック！



フォロー & いいね!をお願いします

観賞温室第2室 企画展示

開催中_7/7(日) **人と植物のかかわり1「紅茶」**

7/10(水) 9/16(月・祝) **食虫植物展**

特別展示

7/28(日) 8/18(日) >> **「高山性ウツボカズラ」**

8/11(日・祝) 8/12(月・振) > **夏の夜間開園**

温室の開館時間を20:30まで延長(入館受付20:00まで)
小・中学生温室入館料無料

- 18:00-19:00 ◆倉重園長による熱帯植物ドームガイド
- 18:00- ◆熱帯フルーツ試食(限定50名)
- 17:00-19:00 ◆体験教室
- 17:30-20:00 ◆子ども縁日
- 18:30-19:00 ◆ミニコンサート

9/16(月・祝) > **シルバー無料デー**
65歳以上の方は温室入館無料

観賞温室第3室1階 作品展示

7/2(火) 7/21(日) ◆ファンタジー ◆出展: Tommy's Stone

7/23(火) 8/4(日) ◆第3回花子展
～色鉛筆やパステルで描くやさしい世界～
◆出展: 渡辺花子

8/6(火) 8/18(日) ◆植物色図鑑 色サンプル展7 ◆出展: 植物色図鑑

8/20(火) 9/8(日) ◆切りとられた植物展 ◆出展: 鶴水亜里沙

9/10(火) 9/29(日) ◆レカンフラワー ―季節の花たち―
◆出展: 花はなくらぶ

観賞温室開館日 ※温室開館時間/9:30～16:30(入館締切16:00)

□ 休館日 ○ 夜間開園日 ◇ シルバー無料デー ■ 小・中学生温室入館無料期間

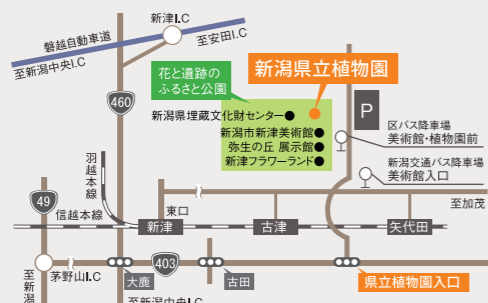
7 July							8 August							9 September						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
・	1	2	3	4	5	6	・	・	・	・	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
28	29	30	31	・	・	・	25	26	27	28	29	30	31	29	30	・	・	・	・	・

新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410
HP <http://botanical.greenery-niigata.or.jp/>
指定管理者 国際総合学園・都市緑花センターグループ

情報発信しています

新潟県立植物園 検索



屋外園地無料/無料駐車場300台収容



花と緑の教室 *要予約/開催月の前月の1日から電話受付

会場・集合場所 ●花と緑の情報センター2階(無料入館エリア)
*参加費には温室入館料が含まれています

7/10(水) **花散歩④「園内雑草探訪」**
13:30-15:00 ●定員:15名 ●参加費:500円 ●講師:田中良明(当園職員・樹木医)

7/13(土) **五感で味わう新潟の花**
10:30-12:00 ～親子生け花体験トルコギキョウ～
●定員:10組 ●参加費:800円 ●講師:須田寛子(花守)

7/14(日) **五感で味わう新潟の花**
10:30-12:00 ～親子生け花体験トルコギキョウ～
●定員:10組 ●参加費:800円 ●講師:須田寛子(花守)

7/28(日) **植物園特別講義「植物観察のおもしろさ」**
13:30-15:00 ●定員:20名 ●参加費:500円 ●講師:五百川裕(上越教育大学教授)

8/12(土) **五感で味わう新潟の花**
10:30-12:00 ～親子生け花体験ヒマワリ～
●定員:10組 ●参加費:800円 ●講師:須田寛子(花守)

8/21(水) **花散歩⑤「真夏に咲く花を探しにいこう！」**
13:30-15:00 ●定員:15名 ●参加費:500円 ●講師:丸山真也(当園職員)

9/11(水) **花散歩⑥「熱帯ドームに咲く草花」**
13:30-15:00 ●定員:15名 ●参加費:500円 ●講師:橋本永(当園職員)

新潟県立植物園夏休み親子教室

参加申し込みは7/20～7/24・メールにて受付ます。
詳しくは植物園ホームページをご覧ください。

7/27(土) **食虫植物を育ててみよう!**
10:30-12:00 ●定員:15組 ●参加費:900円 ●講師:小坂幸生(新潟食虫植物愛好会)

7/27(土) **食虫植物を育ててみよう!**
13:30-15:00 ●定員:15組 ●参加費:900円 ●講師:小坂幸生(新潟食虫植物愛好会)

8/4(日) **植物採集と植物標本づくり**
8:30-12:00 ●定員:10組 ●参加費:800円 ●講師:林寛子(当園職員)

8/4(日) **植物標本づくり**
13:30-15:00 ●定員:10組 ●参加費:800円 ●講師:田中良明(当園職員・樹木医)

8/10(土) **身近な草でおもちゃをつくろう!**
10:30-12:00 ●定員:15組 ●参加費:500円 ●講師:丸山真也(当園職員)

観賞温室利用案内

	個人	団体 (20名以上)	回数券 (5回分)	定期券 (6ヶ月)
大人	600円			
シルバー (65歳以上)	500円	480円	2,500円	1,200円
高校生・学生	300円	300円		
小・中学生	100円	100円		

- シルバー料金での入館は生年月日を証明できる物の提示が必要となります。
- 高校生・学生料金での入館は学生証の提示が必要となります。
- 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者は無料となります(等級により介助者無料)。

- JR** 信越本線古津駅下車徒歩約25分
- バス** 区バス:新津駅東口から「新津駅西口」行き「美術館・植物園前」下車徒歩約1分
新潟交通バス:新津駅東口から「矢代田経由白根・湯東営業所」行き「新津美術館入口」下車徒歩約10分 ※日・祝運休
- 高速道路** 磐越自動車道新津ICから国道403号で三条/加茂方面へ約15分
- 一般道路** (新潟方面から) 国道49号から茅野山ICを国道403号加茂/新津方面へ20分

NIIGATA Prefectural Botanical Garden
NEWSLETTER

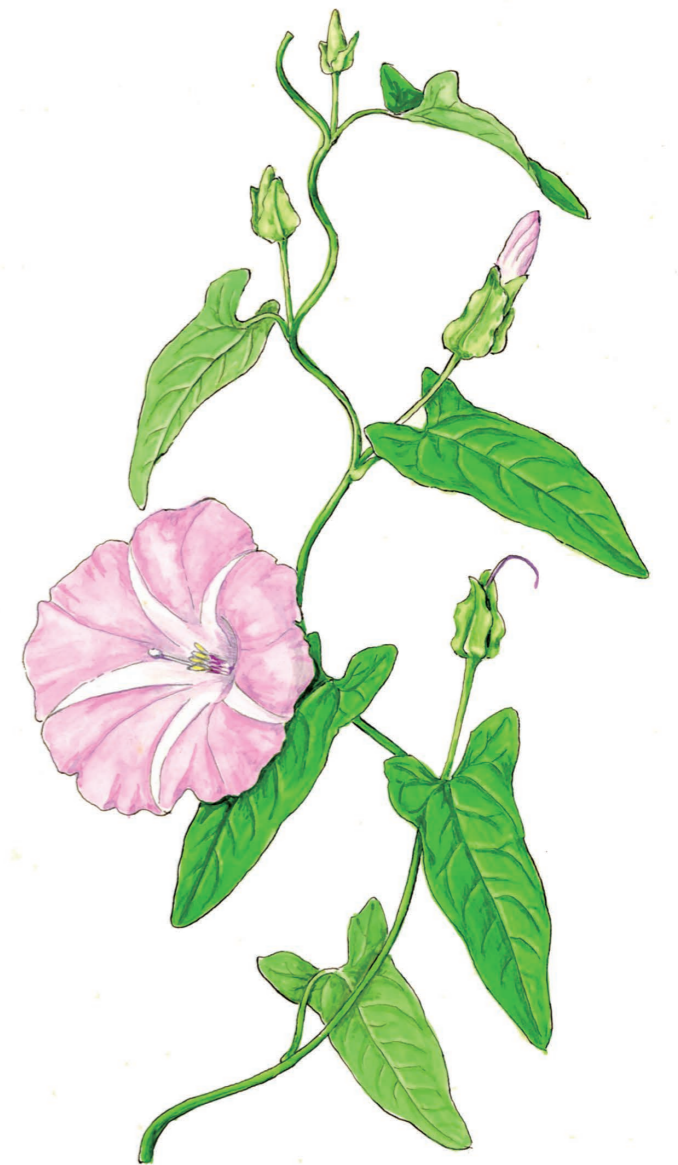
新潟県立植物園 植物園だより

2019 summer Vol.74

ヒルガオ <ヒルガオ科>
Calystegia japonica

ヒルガオの仲間は世界の温帯や熱帯に数十種が分布し、そのうち4種が日本に自生している。ヒルガオは野原や道端そして畑地などに普通に見られる、つる性の多年草で、繁殖力が強い。地下茎が地中深く横たわり、所々から地上茎を出して他の植物に絡まりつく。葉は長さ5～10cmの長楕円状披針形で、基部はやじり形となる。7～8月頃に咲く花には長い花柄があり、各葉腋に1花ずつ着く。花はアサガオに似ており、大きなラッパ状の淡紅色である。朝に開花し、夕方までしおれない一日花で、同じ科で午後にはしばむアサガオや夕刻から咲きだすヨルガオと違い、日中の暑い盛りにも咲いている。

解説: 富樫信平(要約)



夏の夜間開園 8/11(日・祝) 8/12(月・振)

- 温室の開館時間を20:30まで延長(入館受付20:00まで)
- 小・中学生温室入館料無料

- 18:00-19:00 ◆倉重園長による熱帯植物ドームガイド
- 18:00- ◆熱帯フルーツ試食(限定50名)
- 17:00-19:00 ◆体験教室
- 17:30-20:00 ◆子ども縁日
- 18:30-19:00 ◆ミニコンサート

シルバー無料デー 9/16(月・祝)

- 65歳以上の方は温室入館料無料



観賞温室
第2室
企画展示

虫を食べる技を持つ 食虫植物展

7/10(水) 9/16(月・敬老の日)

毎年恒例になっている子どもに大人気の企画展「食虫植物展」長い時間の中で独特に進化したことにより、虫を捕らえ自身の栄養にする機能を持つ妖しい姿が特徴です。虫をはさみこんだり、ツボの中に落として溶かしたり、ネバネバで捕まえて溶かしたり、水の中で虫を吸い込んで捕まえたりする技を持つ食虫植物を観察できます。

また、7月28日(日)～8月18日(日)には、ボルネオ島の高山に自生するウツボカズラのエドワードシアナとローウィの特別展示を行います。

期間中は植物園オリジナル食虫スタンプラリー、植物関連クイズ、自由研究に役立つ学習コーナー、動く大型のハエトリソウ模型、写真撮影にピッタリの大規模ウツボカズラ模型も登場。8月11日(日)・12日(月・振休)は20時30分まで夜間開園を行います。詳しい内容はホームページでご確認ください。楽しさ満載の夏の植物園をご家族でお楽しみください。



企画展示
NEWS

人と植物のかかわり2 コーヒーとチョコレート Coffee and Cacao Story

「美味しさ」と「不思議」の詰まった二つの実～

■第1幕 Story of Coffee 珈琲物語 ～深くて広いコーヒーの世界～

■第2幕 Story of Chocolate チョコレート物語 ～チョコレートを生み出す実「カカオ」の神秘～

9/19(木) 11/17(日)



さまざまなカカオの実

皆さんにもなじみ深いコーヒーとチョコレート。どちらも熱帯原産のコーヒーノキとカカオの種子を使った食べ物です。

当初初となる今回の展示では、2つの植物に焦点を当て、にいがたコーヒプロジェクトや企業の全面的な協力を得て、原産地の風景を再現した展示場を中心に、植物学、栄枯盛衰の歴史、生産・製法、さまざまな利用等、多面的なコーヒーとチョコレートの魅力と不思議をご紹介します。また、「飲む」、「食べる」をテーマにした楽しいイベントや教室なども開催します。



上左: コーヒーノキの花、上右: コーヒーノキの果実
下左: カカオの花、下右: カカオの果実

植物園ニュース

NEWS 1 地域の自然と共に生きるチカラを ～オキナグサを通して～

「地域の自然を知り、守り、そしてその魅力を伝えていく力」を育んでいくことを目的の一つとして、新潟県内某所(*自然保護・保全などの観点から、詳しい場所については伏せさせていただきます)の小学生と共に、新潟県内で最大級のオキナグサの自生地の保護・保全活動を進めています。

これまでに、自生地でのオキナグサの観察や、生育域内保全のためのオキナグサの種子採

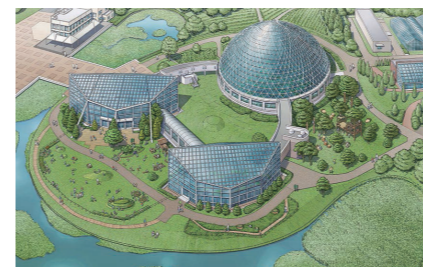
取・播種を行いました。またそれと同時に、自生する自然に生育する様々な植物について、五感を通じて、楽しんでもらうことも重視して、進めてきました。

この子ども達の中から、植物や地域を愛し、次代へと繋いでくれる人が、一人でも出てくれることを願いつつ、これからもこの活動を続けてまいります。(丸山真也)



上: オキナグサ 下左: 地元小学生との調査・右: 種子採取

NEWS 2 子ども向けエリアの新設に向けて



※イメージ図



2018年に行ったワークショップの様子

裸足で地面を歩く、泥遊び、花摘みや草遊び、木登り、生き物の世話や夜空の観察…。私たちの記憶に感覚として残っているこれらの自然体験は、心身の発達に影響することが分かっています。しかし現代では、子どもが自由に体験できる環境が身近になく、植物園でも、親子でご来園の方にお子さまの自然体験についてお聞きすると、「不足している(体験させたい)」という声が多く聞かれます。この現状を受けて、植物園では専門家のアドバイスのもと、「子ども向けエリア」新設に向けた検討を行いました。子どもにとって必要な体験をもちこんだエリアを目指し、植物の特性やおもしろさを熟知した植物園ならではの体験を提供できるよう準備を進めています。(林寛子)

基本的な考え方

- 子どもと自然をつなぐ
- 植物を知る
- 新潟の自然、産業を知る
- 世代間の知識の循環、共有

ガーデンコンセプト

- 五感で楽しむ
～さわ心地や香り、自然の音を楽しめる
- 多様な植物
～形や性質の違いを知ることができる
- 新潟らしい植物
～ふるさとの環境や産業の理解を深める
- 季節を感じる
～季節による植物の姿や、木陰や日当たりの良さを楽しむ

園内 ウォッチング



左から: パラグアイオニバス1日目、パラグアイオニバス2日目、外の池に移動

温室

意外に知らないパッションフルーツ (Passiflora edulis) トケイソウ科

ジュースやスムージーなどに使用されるパッションフルーツは、ブラジル原産のトロピカルフルーツです。名前は耳にしたことがあるかもしれませんが、花はなかなか目にすることがないという方も多いのではないのでしょうか。ユニークな花を咲かせます。花の見た目が時計の文字盤のように見えることからトケイソウとも呼ばれています。

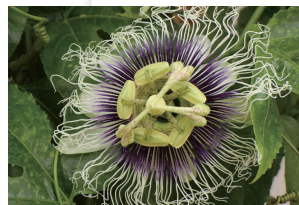
花が終わった後に緑色の実がなり、徐々に紫色へと変化し、自然に落下するころが食べごろのサインです。中にはいくつも種が入っていて、ドロップとしています。それをスプーンですくって種ごと味わいます。爽やかな酸味があと引くおいしさです。何年か前、当園の夏の夜間開園の熱帯フルーツ試食の際にお客様に召し上がっていただきました。「種ごと食べるので不思議なかんじがする」との感想が多かったです。(桐生綾香)

園地

熱帯植物ドームから外の池へお引越し パラグアイオニバス (Victoria cruziana) スイレン科

熱帯植物ドームの池で育てていたパラグアイオニバスをより一層大きくするために外の池へ移動させました。葉は大きくなると、2m以上の大きさになり、人が乗っても沈まないことで有名です。実はその大きな葉の裏には無数の刺があり、触るとかなり痛いです。そのため、外の池に引越させざるも他の植物と比べ苦勞です。

オオオニバスの仲間は、夜に花を咲かせます。しかも、2日にわたって咲き、1日目の花は白色で甘い香りを放ちます。そして一度閉じた花は翌日再び咲き、濃いピンクに変わります。1日目の花が咲く前になると、とても甘い香りが周辺を漂い虫をおびき寄せます。たしかにあの甘い香りは虫以外に人間でも興味を持ってしまいます。ぜひ、皆さんも池に近づいた時には、甘い香りが漂っているかを確認してみてください。香りを感じたら、その日に花が開きます。(桐生綾香)



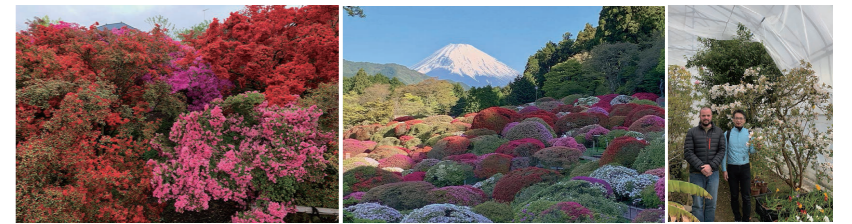
上から: パッションフルーツの花
熟成前のパッションフルーツ
パッションフルーツの中心

NEWS 3 春の調査報告

春は多くの花が咲く時期。一年で一番多く植物関係のお客様もいらっしゃいますし、会議や調査に向かいます。

今年は、4月にオックスフォード大学植物園のベン・ジョーンズ氏が、保全調査の打ち合わせにいらっしゃいました。その後もフランスの生物学者であるデニス・クラブル氏がユキツバキの調査のため来日、英国王立園芸協会樹木部会のクリス・サンダース氏を自生地にご案内しました。

ツツジの会議や調査のために、群馬県館林市のつつじヶ岡公園、神奈川県箱根町の小田急山のホテルのツツジ庭園、能登町に出かけました。今年は春が寒かったため、開花が例年よりも遅れましたが、その分開花が長かったようです。山のホテルでは、貴重な「手牡丹」や「紫魔」(むらさきざい)が開花しているのが見られました。(倉重祐二)



左から: 館林市つつじヶ岡公園の満開のツツジ、山のホテルのツツジ庭園と富士山
オックスフォード大学植物園のジョーンズ氏と栽培温室で記念撮影



左から: 石川県能登町芦田家の「八重霧島」、オオヤマツツジ系の園芸品種「紫魔」
琉球系ツツジの園芸品種「手牡丹」、花が散った後の萼が美しい「霧島高」